

平成21年度 学校教育目標

本校の教育目標は建学の精神である、「誠実で信頼される人に」という次代を担う人材の育成にあります。この目標を具現化するために教育実践目標を掲げ、その実現に向かって取り組むこととします。

具体的には本校のSIである「安心と信頼・元気と共感」を機軸に、鈴鹿を選んできていただいた生徒や保護者の方の「満足度」の視点に立った教育活動を進めていきます。また鈴鹿の伝統、誇りである厳しさと温かさ、きめ細かな指導を通して、より選ばれる学校になっていくよう、以下の重点項目に対し全教職員が「チーム：SUZUKA」として一致団結して努力していきます。

1、「一人一人を大切にする」という本校の従来からの教育理念の重視

生徒の自己肯定感を育成し、自己実現にむかって進んでいけるよう学力保障に努めます。

2、学校評価による生徒・保護者の満足度の向上

「安心と信頼、元気と共感」というSIをかけた、保護者や生徒のみなさんが本校に入学して良かったという満足度100%の数値結果を目標に、日々の教育実践を積み重ねていきます。

3、教師全員の教科指導力の向上

教師は全員がプロの教師であるという自覚のもと、まずは教師が指導力の研究と研鑽の勉強に努め、生徒の持っている潜在的な力を伸ばすことで結果を出します。

4、「いじめ」や「差別」のない仲間づくりと命の教育の充実

本校ではいじめや差別を見逃さない、絶対許さないという人権尊重の雰囲気を学年やクラス、クラブなどの集団で指導者の責任で作成し、学校全体でいじめや差別のない学校を目指します。

また、交通事故や自殺の予防など、命を大切にする教育を進めていきます。

5、環境にやさしい学校づくり

今や人類社会の全地球的な課題である環境問題に対して、公的な教育機関としてその責任の一端を果たすべく、環境にやさしい取り組みを具体的に実践していきます。

6、「集団としての規律とルール・時間」を守る自己コントロール力の育成

高校を卒業した社会の中で一人の人間として信頼されて生きていけるよう、「集団としての規律とルール・時間」を守るため自己コントロール力をつける指導の強化をはかります。

7、学校としてのガバナンス、情報公開と社会的説明責任の義務の遂行

税金と保護者からの学納金による公的な教育機関として、私学法の改正に基づいたガバナンスを重視し、学校のステークホルダーである保護者への社会的説明責任を遂行していきます。